

あだたら

十月一日(土)

九月山行、西吾妻山

報告 □□□□□

第408号
発行所 山部町
山部町 山部町
あだたら 山部町
編集 山部町

●編集部連絡先
二本松市内11515
0243(22)4245
Fax可 渡辺 正



11時15分、西吾妻山頂

六時三十分の方木田のC
○・○P駐車場に集合して
□□□さんの車を□□さん
に運転していただき出発。
西インターより高速で米沢
八幡原インターまで行き、
県道にて天元台ロープウェ
イ駅へ。八時九分、準備し

てロープウェイ乗車。約十
分の空中散歩で天元台高原
駅到着。登りのロープウェ
イで『キャンペーンのお土
産を帰りのロープウェイに
乗る前に天元台ロッジでお
受取りになってから、帰り
のロープウェイにご乗車く

ださい」と案内がありまし
た。その後三台のリフトを
四十八分かけて乗り継ぎリ
フト終点(北展望台)へ。
九時十八分軽く準備運動し
て登山開始。二十数年ぶり
の西吾妻山です。良いお天
気で、わくわくします。尾
根(かもしか展望台)に約
三十分で登って出ると、こ
こから木道となり、視界が
開けて雲の無い青空と紅葉
がとてきれいでした。池
塘や紅葉、草紅葉などの景
色が見たくて度々足が停ま
ります。遠くの山が青く見
えました。スマホのカメラ
ではなかなかきれいな撮
れませんが、途中の大凹の
水場で給水と休憩。水がお
いしかったです。草紅葉の
中にデングルマの赤と風車
のアクセント。たった一本
だけリンドウが花を残して
くれました。梵天岩ま
でもだいぶゆっくりに楽し
みました。

十一時三十九分西吾妻小
屋到着。小屋は工事中で、
工事に来ている方たちの荷
物などありましたが、トイ
レは使用できて助かりまし
た。天狗岩でお昼にしよう
と天狗岩までひと歩き。
十一時五十七分、天狗岩
到着。吾妻神社の裏手に陣
取り、岩や紅葉の景色を眺
めながらの昼食。となり
は関西弁を話すおばさま達
がいました。お昼を食べ終
わり、神社裏手から出て行
くと、関西弁を話すおばさ
まの一人が転倒した。たん
瘤だけで済んだようでした
が、自分も気を付けなけれ
ばと思いました。

十二時四十九分、天狗岩
出発。梵天岩経由でまた大
凹の水場で給水と休憩。や
っぱり水がうまい。大凹っ
て「おおくぼ」と読むので
すね、「おおぼこ」かと思
いました。

十四時十分、人形石到着。
下山に備えて二十分ほど休
憩とおやつタイム、のち記
念撮影。人形石の大きな石
の上で椅子に座りゆったり
と景色を楽しんでる方が居
ました。それぞれですね。
私が明月荘の話をしたの
で、人形石のすれから見え
るのでは?と覗きに行く
が見えなかった。来年に
また縦走ができたら良いね
と話ながら下山開始。コケ
たり怪我しないように、ゆ
っくりと降りる私に皆さん
が大丈夫かと声をかけてく

れる。ありがとうございま
す。大丈夫ですと返し気を
付けながら足を運ぶ。
十五時六分、リフト終点
(北展望台)に到着。近く
に「五名峰展望台」という
のがありましたが、誰も眺
めず次回の楽しみとなりま
した。

十五時十三分、リフト乗
車。汗かきの私は体を冷や
すまいとライトダウンを着
た。そのとなりで係員の方
が冷えますから何か一枚羽
織ってお乗りくださいと呼
び掛けておられました。リ
フトの下にはリンドウがた



縦走路にて

くさん咲いていました。五
十三分かけて天元台高原駅
にて、その前に天元台ロッ
ジで記念の手拭い、お米三
百グラム、味付け玉こんに
やくを受け取り、ロープウ
ェイに十六時十三分乗車。
十六時二十二分湯本駅到
着、無事下山。キャンペー
ン期間中とありロープウェ
イ、リフト代が三千円引き、
乗車券にはお土産と温泉入
浴券が付いていました。時
間が遅くなったので温泉は
おあすけとなり帰路につ
く。県道を走り米沢八幡原
インターより高速で西イン



リフト乗り場



キャンペーンのお土産

ターまで。方木田のC○
P駐車場に十八時前に到
着。山の会の山行にあまり
参加できない私に合わせ
ていただいたので、普通より
時間がかかったかと思いま
す。同行していただいた、
□□さん、□□□さん、□
□□さん、□□□さん、□
□□さんありがとうございました。
お疲れ様でした。

十月十一日(火) 湯川溪谷、天狗の庭橋の庭橋架橋作業

報告 編集部



橋板固定作業

十一日(火)、安達太良山湯川溪谷、「天狗の庭橋」の掛け直し作業を実施した。この橋は、湯川溪谷登山道の一番上の橋で、この上が、勢至平登山道との合流地点「塩沢別れ(丸札道標29番)」となる。昨年十一月二十日には無事、今年五月八日に折れているのを発見。八月三日の豪雨で、流出して行方不明、渡渉を余儀なくされていた。新しい橋の材料は元会員や温泉会社さんのご協力で、先月下旬には小屋下の「車両迂回場所」迄運ばれていた。十一日には六名の会員が、架橋場所まで材料を運び、鉄パイプを並べた上にアルミ梯子を置き、足板を取り付けるといふ、構想に随って橋を設置した。「手掛かりロープ」、「流れ止めロープ」も設置され、安全に利用できる。

又、湯川溪谷登山道では、精錬所跡前後の笹の茂りが酷く、通過に支障与えている。



硫黄精錬所跡近傍での草刈作業、3名写っています



今年5月、落橋

たので、刈り払い機や鉋での、刈り払いも併せ行った。湯川溪谷でも紅葉は進み、特に橋手前から対岸に見える「天狗の庭」の「草紅葉」の見事さには、驚かされる。

十月十六日(日) 五葉松平下登山道整備

報告 □□□□



【参加者】□□□□□□、□□□□、□□□□□□、郡山の□□さん夫妻(五名)
【行動】休日、紅葉盛りという事で、三ヶ所の駐車場ほぼ埋まり、ロープウェイも三十分待ちと多く登山者で賑わっている。八時、ランデブー前に集合出発する。馬車道分岐から五葉松平コースに入り、ゲレンデ脇のリフト下を刈り払う。上の小川の上下の刈払い、リフト降り場の下も刈り食とする。十二時十分頃から午後の作業、大雨で土砂災害の所手直し、五葉松平まで登山道に出ている木の枝など切り岩場の所にミニパイパスも造り、五葉松平まで上がる。二時過ぎ今日の作業終了下山する。三時四十分、無事ランデブー前に下山解散する。ゲレンデ脇の登山道は、幅広く刈る前に取り付けたアルミ梯子は大雪で変形しているが、今の所支障無いと思う。

九月十五日(木)

会報前号に掲載出来なかった 笹山下登山道整備の写真



8時18分、霧で真っ暗な奥岳を出発



15時40分、雲の上は明るかった



リフト下で作業

九月二十五日(日)

個人山行・豪士山

報告 □□□□



豪士山

朝六時出発、四号十三号国道、マツタケラインを上和田より分かれ登山口へ。登約八十如二時間かかる。登山口八時十五分出発。杉林を過ぎ、ジグザグの急登約三十分。岩と松の屏風岩を思わせる様な左側が切れ落ち深い沢まで行く。コース一番の見所になっている。尾根を登り尾根を巻くように登る。右に沢を見、ジグザグの登り、水場となる。落ち葉などで水場として口

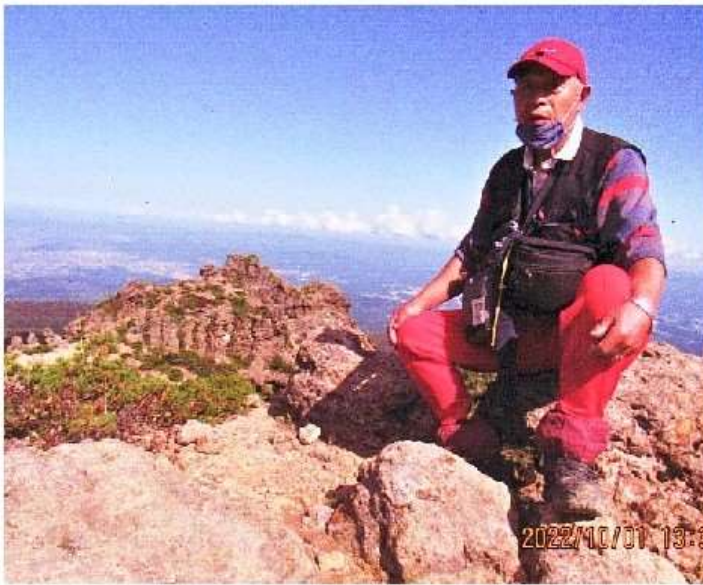
に入れることは、いやな様だ。十五、六回のジグザグの急登が続く、前回来たときは綺麗な刈り払われ歩き易かったが、少し荒れていて、林から解放されると豪士峠である。峠からは置賜盆地を眼下に見る事が出来る。豪士山頂(一〇二二m)十一時二十分に着く。三六〇度の眺望、吾妻、飯登山、朝日岳は雲の上、蔵王、東の方には摺上山々など楽しみ昼食とする。計画では二時

間半を見ていたが三十分オーバーの三時間かかる。午後一時下山途中、山ブドウを取り甘酸っぱい山の幸を心ゆくまで味わい楽しみ無事下山する事が出来た。登山口には四、五台駐車出来るスペースがあり、今回四台の車があった。下山してきたキノコ取りの男性。山頂では軽装の男性に逢っただけの静かな山行を楽しむ事が出来た。

十月四日(火)

個人山行・鉄山

報告 □□□□



2022/10/07 13:30

城山クラブ山楽会より、十月十一日安達太良鉄山山行の計画書が来た。前回の豪士山山行の事も有り計画通り歩く事が出来ないのではないかと思いつく計画コース

を奥岳九時出発する。峠の辻までは計画より二十分遅れで着く。昼食を取り矢筈森・馬の背を過ぎ鉄山への急登と岩場で足に違和感を感じ、薬のみ、十五分程休

九月十五日(木)

会報前号に掲載出来なかつた 箆山下登山道整備の写真②



14時4分 階段完成



くい打ち



水平出し

み、鉄山山頂を諦め下山する。矢筈森で休憩、くろがね小屋二時四十分頃着き、管理人にお願ひし風呂に入れて貰い、三時十五分、小屋を出る。金明水付近で白のリンドウの花に逢う。シ



白のリンドウ

場はほぼ埋まっていた様だ。五時無事第二駐車場へ下山する事が出来た。山頂諦め、早めの下山が良かったのだと思う、焦りせずマイペースで今少し、楽しみたいと思っている。

◆西吾妻山のリンドウ、十月一日、一面の、□□さんの報告参照して下さい。
◆個人山行の記事下さい、メールだと有り難いので、が、手書きも歓迎、FAXも受信できます。



◆九月十三日、福島民報書欄、□□□□さん『原稿の新增設、不安を感じる』、
十月六日『高山のリンドウ、色濃くきれいに』吾妻山浄土平、安達太良山。

編集後記
四〇八号



完成した階段



勢至平のヤマブドウ